〔第2章〕 富士市及び市立高校の現状整理

◆　富士市の教育環境について

①市内教育施設、公立高校・近隣私立高校に係る基本情報

◆富士市立高等学校の基本情報

②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

③改革実施計画検証後の在り方とその後の取組

④財政面からみる市立高校（高校教育費）

〔第2章〕 ①市内教育施設の基本情報

1　本市の教育環境（学校施設）・・・小学校26校、中学校15校、高校6校

● 小学校

築40年以上　　令和８年５月１日現在

No	施設名	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（和暦）	築年数（年）	普通学級数 在籍者数（人）	特別支援学級児童数（人）	通常学級（学級）	特別支援学級数（学級）
1	吉原小学校	高嶺町6番1号	8,886	S55	46	416	20	14	3
2	今泉小学校	今泉3丁目17番1号	10,535	S51	50	475	28	17	5
3	伝法小学校	伝法2743番地	9,493	H20	18	525	18	19	4
4	神戸小学校	神戸633番地	6,350	S60	41	171	5	7	2
5	元吉原小学校	今井3丁目4番2号	7,328	S45	56	223	14	9	3
6	東小学校	西船津220番地	3,370	S54	47	50	0	5	0
7	須津小学校	中里1019番地	7,498	S40	61	474	18	17	3
8	吉永第一小学校	比奈1431番地	5,759	S50	51	263	10	12	3
9	吉永第二小学校	鵜無ヶ淵149番地の1	5,380	S63	38	66	0	6	0
10	原田小学校	原田480番地	6,727	S42	59	310	8	12	2
11	大淵第一小学校	大淵3012番地	8,014	S45	56	423	34	15	7
12	富士第一小学校	本市場280番地の2	9,953	S41	60	601	12	20	2
13	富士第二小学校	横割1丁目8番1号	7,858	S33	68	489	15	17	3
14	田子浦小学校	中丸98番地	8,295	S38	63	638	18	22	3
15	岩松小学校	松岡850番地	7,938	H28	10	409	7	16	1
16	鷹岡小学校	久沢2丁目3番1号	8,126	S45	56	524	14	19	3
17	広見小学校	広見本町1番1号	8,459	S46	55	513	26	18	5
18	丘小学校	厚原2075番地	6,950	S48	53	778	26	25	4
19	富士見台小学校	富士見台1丁目12番地	7,513	S52	49	206	7	9	2
20	富士南小学校	宮下551番地	9,388	S53	48	883	32	28	5
21	天間小学校	天間50番地	6,624	S54	47	266	5	11	2
22	岩松北小学校	岩本123番地の1	8,079	H元	37	545	25	18	4
23	富士中央小学校	米之宮町295番地	7,658	H5	33	513	9	18	2
24	青葉台小学校	一色295番地	7,791	H10	28	507	18	18	3
25	富士川第一小学校	岩淵107番地	6,750	S39	62	290	10	11	2
26	富士川第二小学校	北松野1963番地の6	3,679	R4	4	238	7	10	1
小学校合計			194,399			10,796	386	393	74

※築年数は2026年度を基準に算定
※静岡県は、「静岡式35人学級編制」によって小学１年生から中学３年生までを35人学級で実施している

● 中学校

築40年以上　　令和８年５月１日現在

No	施設名	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（和暦）	築年数（年）	普通学級数 在籍者数（人）	特別支援学級生徒数（人）	通常学級（学級）	特別支援学級数（学級）
1	吉原第一中学校	永田北町7番1号	11,331	S36	65	552	22	17	4
2	吉原第二中学校	今泉1955番地	9,894	S54	47	477	15	14	3
3	吉原第三中学校	比奈2126番地	8,449	H元	37	331	17	11	3
4	元吉原中学校	鈴川中町28番1号	7,691	S46	55	136	4	6	2
5	須津中学校	中里1156番地	9,553	S52	49	282	13	9	3
6	大淵中学校	大淵2920番地	9,712	S41	60	288	25	9	4
7	富士中学校	中島320番地	11,797	H9	29	611	22	19	5
8	田子浦中学校	中丸411番地	9,190	S48	53	260	6	9	2
9	岩松中学校	松岡2353番地の1	8,791	S45	56	528	6	17	1
10	富士南中学校	森島550番地	11,308	S37	64	695	25	21	4
11	鷹岡中学校	久沢713番地	10,641	S41	60	436	8	14	2
12	岳陽中学校	伝法630番地	11,221	S49	52	688	14	22	3
13	吉原北中学校	原田2259番地	8,638	S56	45	292	8	10	2
14	富士川第一中学校	岩淵855番地の3	6,762	S48	53	148	5	6	2
15	富士川第二中学校	北松野1963番地の6	6,081	R4	4	149	5	6	2
中学校合計			141,058			5,873	195	190	42

※築年数は2026年度を基準に算定

● 高等学校

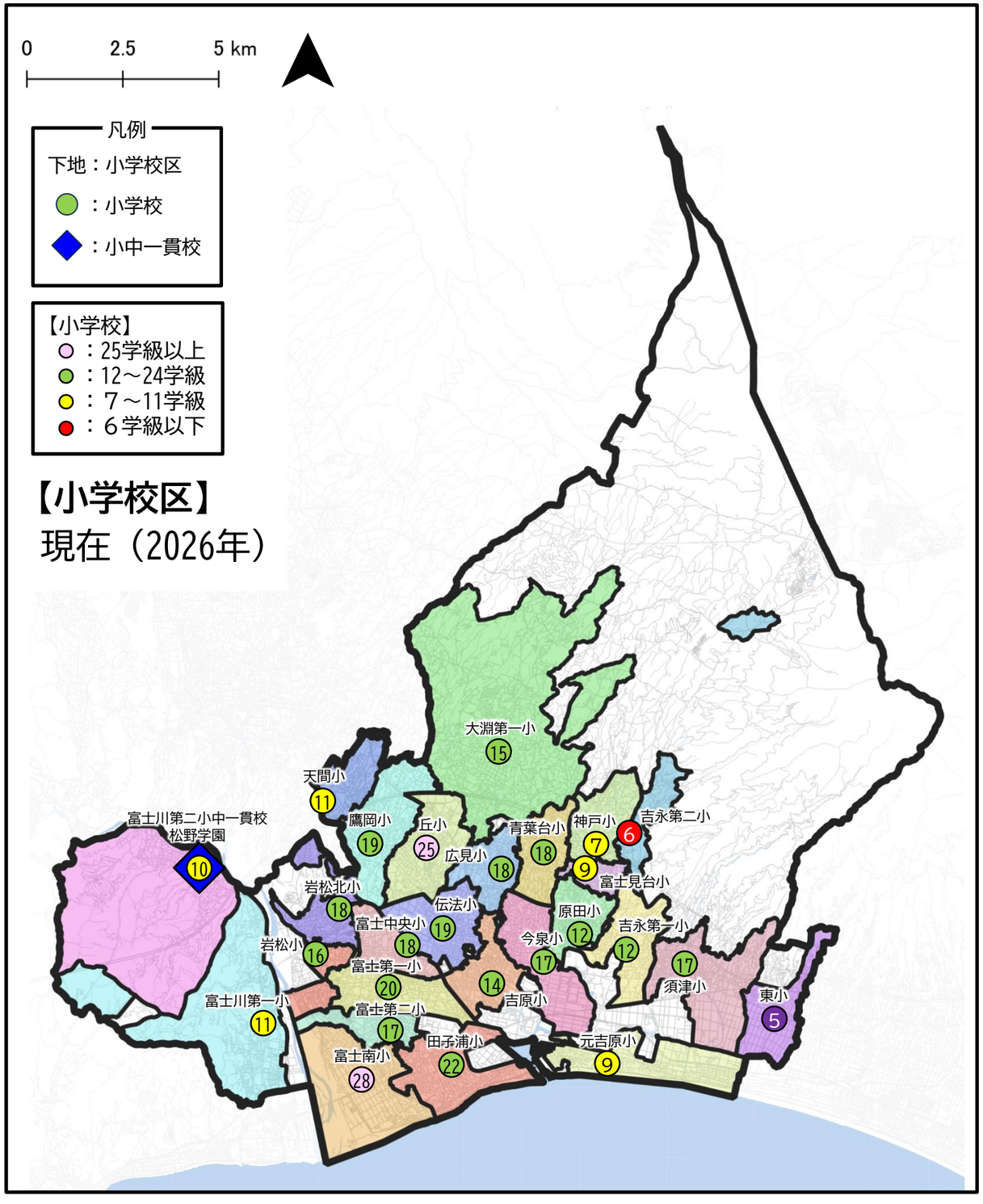
令和８年５月１日現在

NO	区分	高校名	所在地	延床面積(㎡)	建築年度(和暦)	築年数(年)	在学生(人)	クラス数
1	県立	**吉原高校**	今泉2160番地	7,983	S55	44	494	12
2	県立	**吉原工業高校**	比奈2300番地	20,705	H7	29	392	12
3	県立	**富士高校**	松本17番地	15,348	S40/H10	59/26	796	18
4	県立	**富士東高校**	今泉2921番地	11,263	S53	46	523	12
5	市立	**富士市立高校**	比奈1654番地	18,141	H4	32	706	18
6	私立	**静岡県富士見高校**	平垣町1-1	－	－	－	1030	36

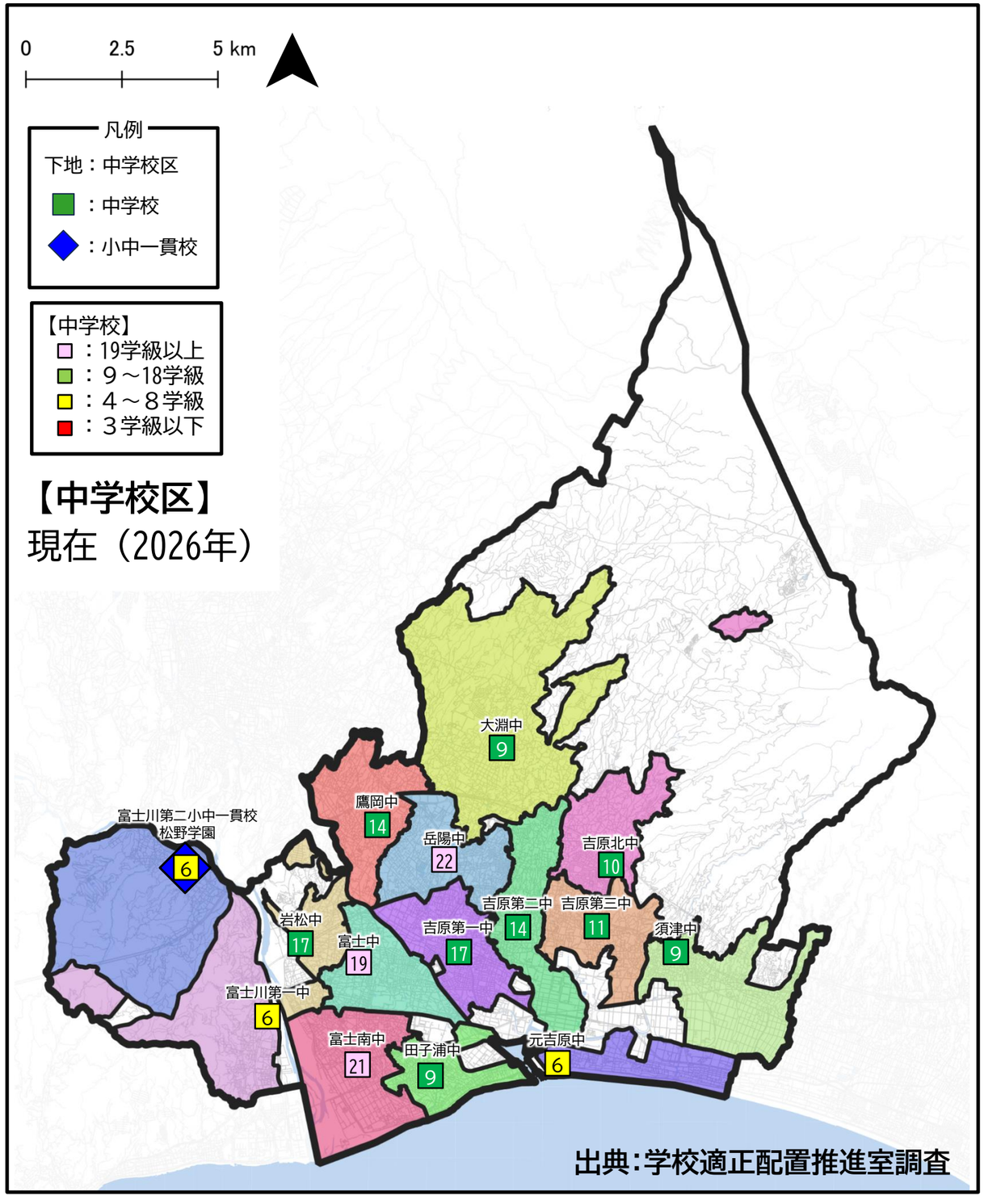
※各校のデータは令和７年度学校要覧及び学校HPより掲載
※築年数は2026年度を基準に算定

出典：学校適正配置推進室調査
作成：富士市教育委員会

〔第2章〕 ①市内教育施設の基本情報



【小学校区】
現在（2026年）



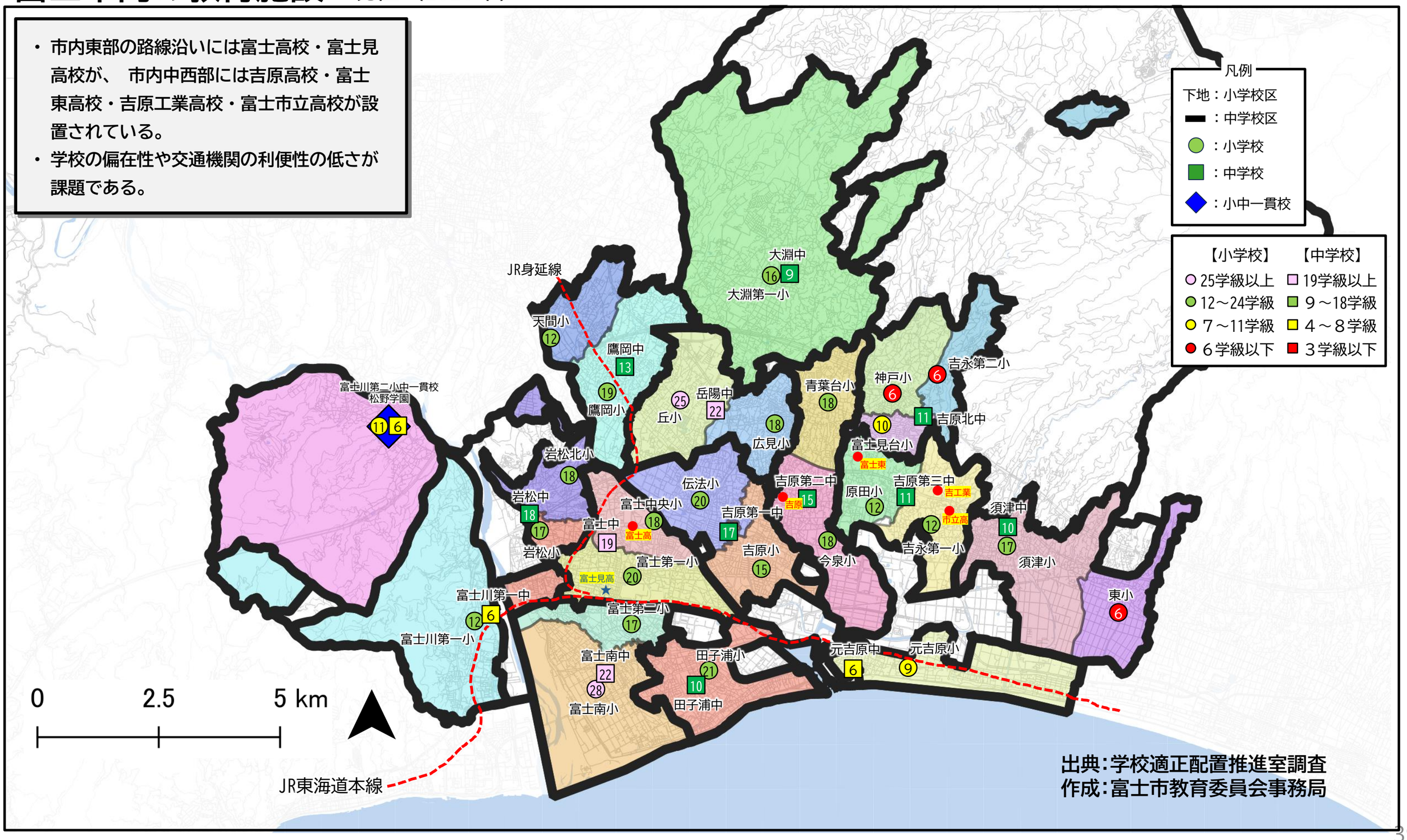
【中学校区】
現在（2026年）

出典：学校適正配置推進室調査

〔第2章〕 ①市内教育施設の基本情報

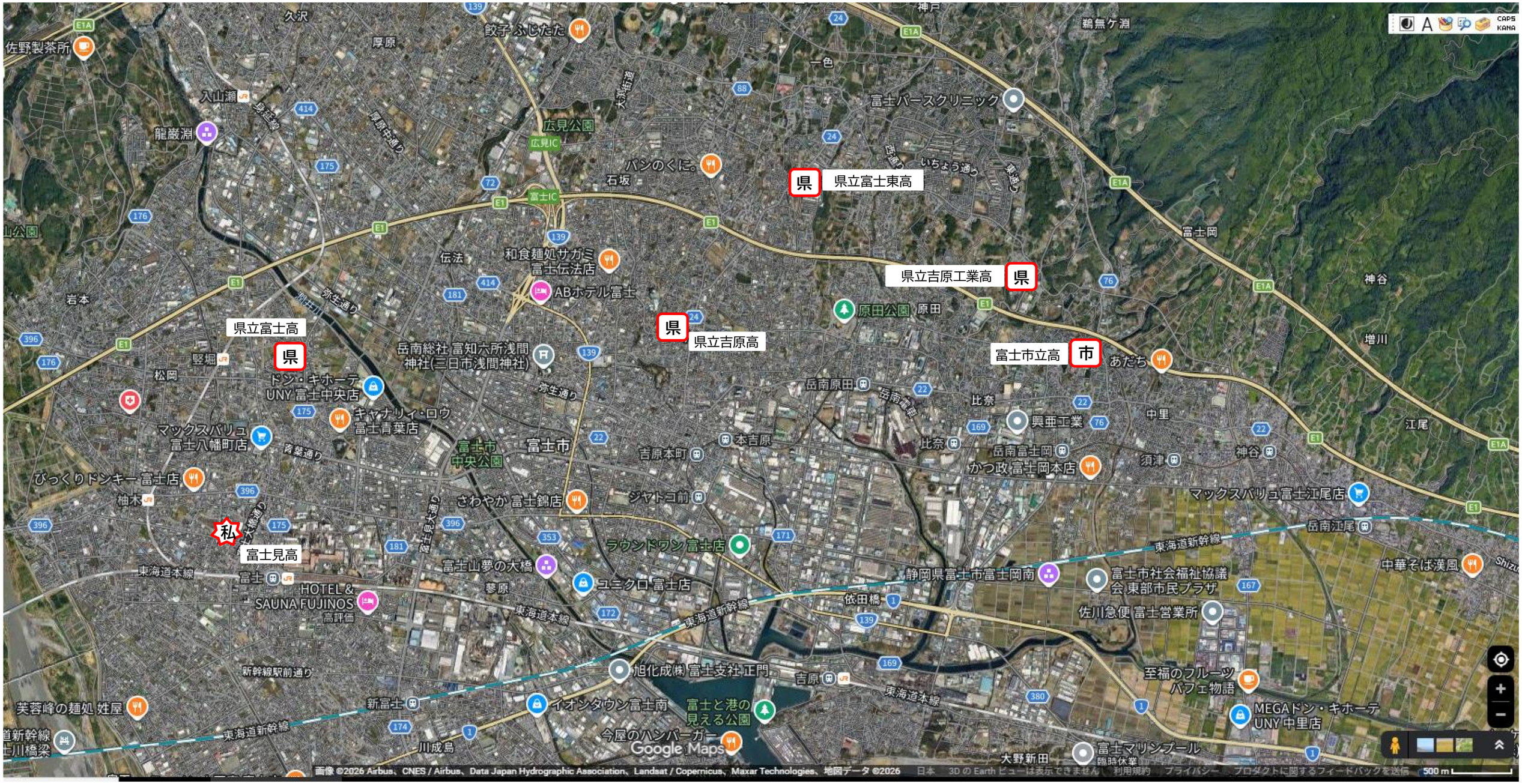
富士市内の教育施設　現在（2026年）

- 市内東部の路線沿いには富士高校・富士見高校が、 市内中西部には吉原高校・富士東高校・吉原工業高校・富士市立高校が設置されている。
- 学校の偏在性や交通機関の利便性の低さが課題である。



〔第2章〕　①公立高校・近隣私立高校に係る基本情報

富士市内の教育施設　現在（2026年）



〔第2章〕 ①公立高校・近隣私立高校に係る基本情報

1　本市の教育環境（高校）

〈参考〉近隣私立高校

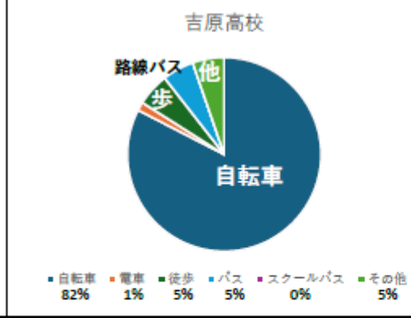
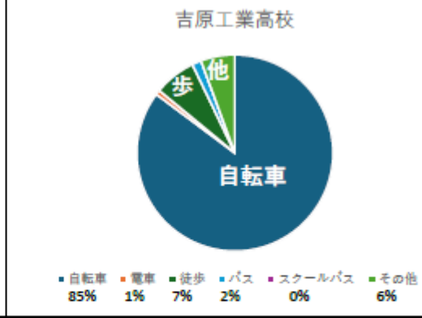
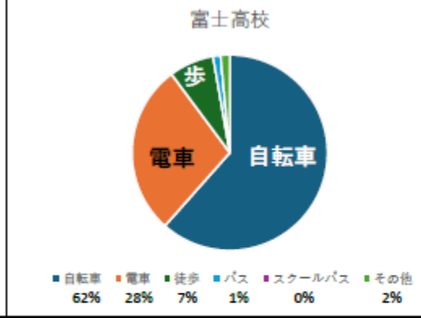
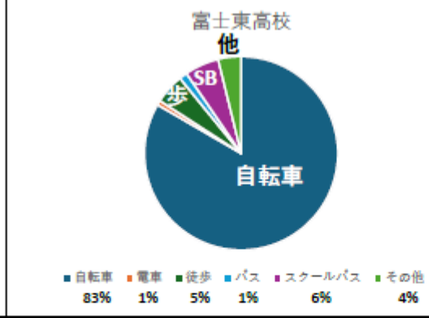
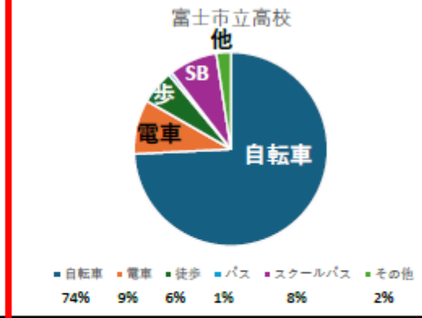
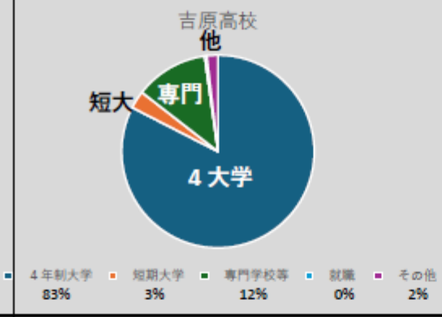
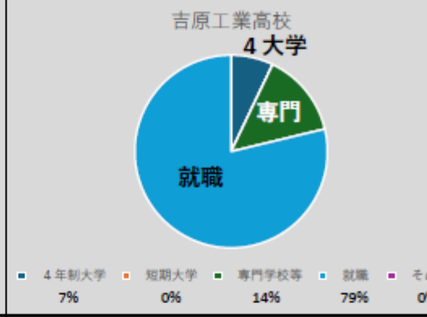
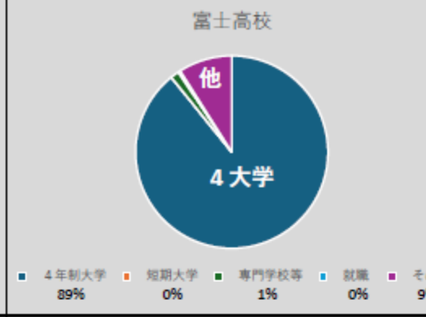
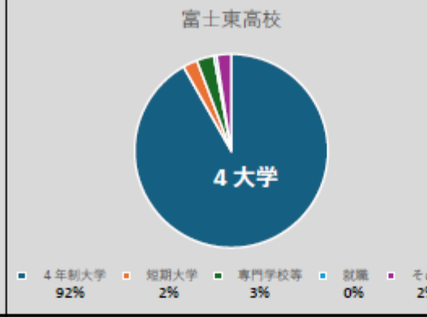
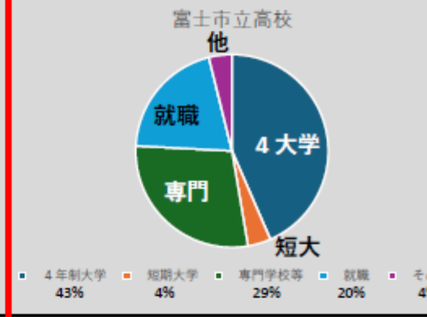
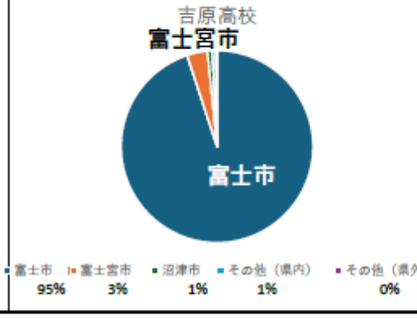
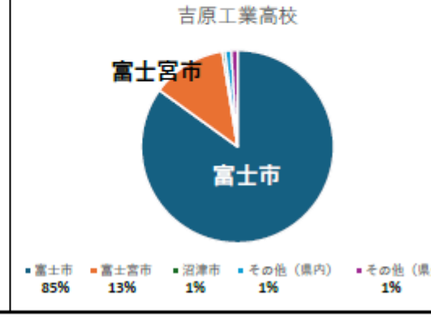
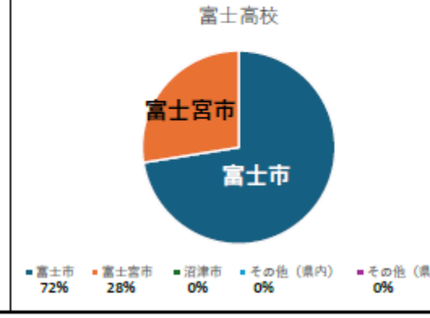
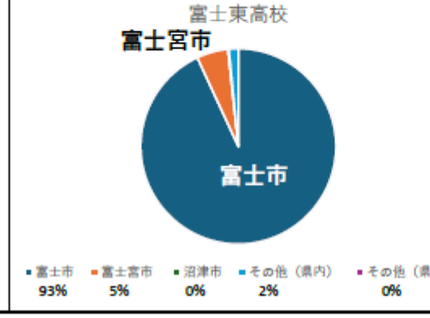
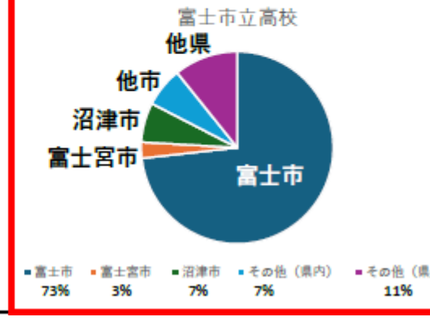
項目	吉原高校	吉原工業高校	富士高校	富士東高校	富士市立高校	富士見高校	星陵高校
創立年度	明治 42 年 （創立 116年）	昭和 32 年 （創立 68年）	大正 11 年 （創立 103年）	昭和 53 年 （創立 47年）	昭和 37 年 （創立 63年）	昭和 2 年 （創立 99年）	昭和 50年 （創立 50年）
所在地	明治 42 年 吉原市日吉町一丁目に開校 昭和 29 年 富士市今泉（現在地）に移転	昭和 32 年 富士市比奈（現在地）に開校	大正 11 年 富士市松本（現在地） に開校	昭和 53 年 富士市今泉（現在地） に開校	昭和 37 年 富士市比奈（現在地） に開校	昭和 2 年 静岡県富士見女学校開設 （女子校） 1994-2000 段階的に 男女共学化	昭和 50年 5月 星陵高等学校の設置 （男子校） 1994-男女共学化
現学校規模	全日制＝ 募集定員 4 学級	全日制＝ 募集定員 4 学級	全日制＝ 募集定員 6 学級	全日制＝ 募集定員 4 学級	全日制＝ 募集定員 6 学級	全日制＝30学級程度	全日制＝38学級
生徒数	全校生徒 494 人 1 年 167 人 2 年 164 人 3 年 163 人	全校生徒 392 人 1 年 160 人 2 年 138 人 3 年　94 人	全校生徒 796 人 1 年 248 人 2 年 270 人 3 年 278 人	全校生徒 523 人 1 年 164 人 2 年 166 人 3 年 193 人	全校生徒 706 人 1 年 249 人 2 年 237 人 3 年 220 人	全校生徒 1,030人	全校生徒　1, 292人
教職員数	教諭等 38 非常勤 9 助手 1（48）	教諭等 50 非常勤 12 助手 3（65）	教諭等 48 非常勤 10 助手 2（60）	教諭等 32 非常勤 9 助手 2（43）	教諭等 67 非常勤等 12 部活指導 12（91）		
設置する学科	普通科　394 国際科　100	理数化学科　47 機械工学科　68 ロボット工学科　45 電気情報工学科　72	普通科　686 理数科　110	普通科　523	総合探究科　341 ビジネス探究科　239 スポーツ探究科　126	特進コース　248 総合コース　782	英数科 （総合・英数・中高一貫） 普通科 （進学・普通）
校舎の築年	校舎棟 （1980年：築 45年）	本館 （1995 年：築 30年）	管理棟 （1965 年：築 60年） 普通教室棟 （1998 年：築 27年）	教室棟 （1978 年：築 47年）	校舎 （1992 年：築 33年）		

出典：学校要覧（公立高校）、独自調査（私立高校）　　作成：富士市教育委員会事務局

〔第2章〕　①公立高校・近隣私立高校に係る基本情報

1　本市の教育環境（市内公立5校　比較）

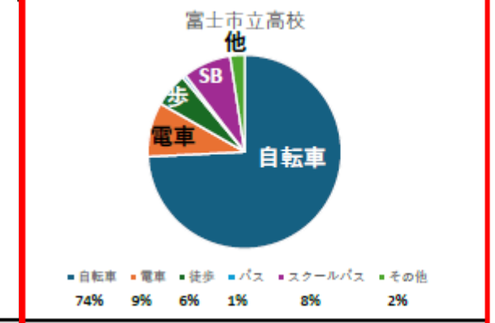
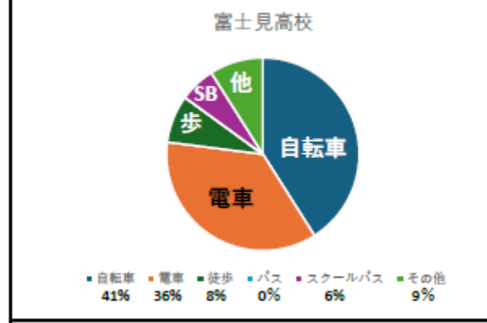
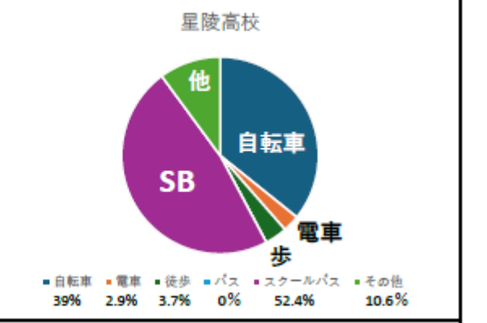
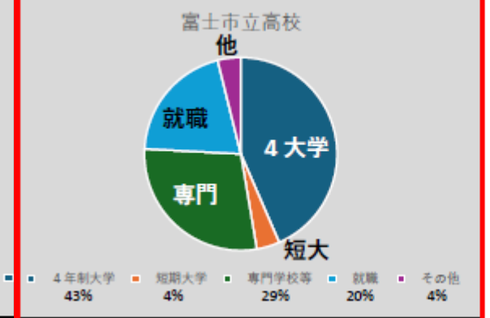
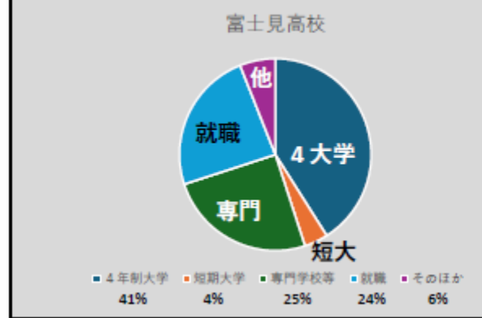
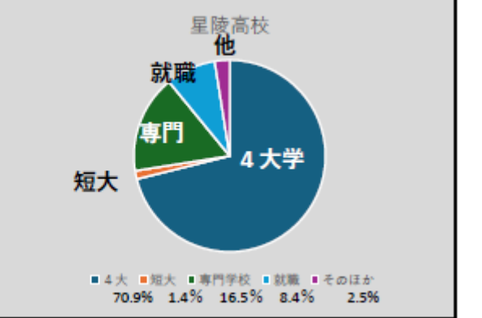
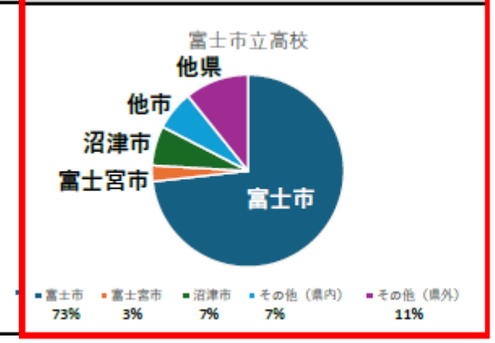
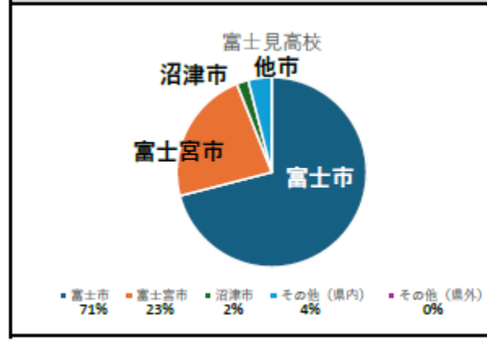
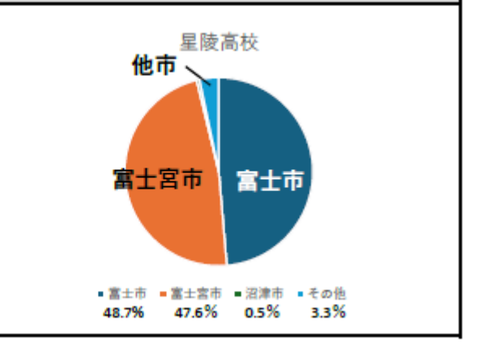
出典：各校学校要覧より
作成：富士市教育委員会事務局

	県立	県立	県立	県立	市立
高校名	吉原高校	吉原工業高校	富士高校	富士東高校	富士市立高校
通学方法					
進路状況					
通学地域別					

〔第2章〕　①公立高校・近隣私立高校に係る基本情報

1　本市の教育環境（近隣私立高校との比較）

作成：富士市教育委員会事務局　独自調査

	市立	私立高校（富士市）	私立高校（富士宮市）
高校名	富士市立高校	富士見高校	星陵高校
通学方法			
進路状況			
通学地域別			

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

2　富士市立高校の沿革、学校改編～今日まで／開校の理念

【沿革等】

昭和37年4月　吉原市立商業高等学校として開校

昭和41年4月　普通課程の併設

〃　　11月　富士市との合併＝富士市立吉原商業高等学校となる

平成19年～　　市立高校の改編について検討を開始

魅力化のための検討
- ・「あり方懇話会」報告書の提出
- ・改革基本構想／市立高校開設準備委員会
- ・改革基本計画／改革実施計画

平成23年4月　富士市立高等学校として開校

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

2　富士市立高校の沿革、学校改編～今日まで／開校の理念

◆吉原商業高校時代

昭和41年　　商業科に加え普通科を併設（普通科、商業科）

昭和48年　　小学科制に改編（営業科、経理科、事務科）

昭和61年　　小学科制を解消（商業科A、商業科B、情報処理）

平成　6年　　商業経済コース、進学コース、情報処理コース

平成15年　　ビジネスコース、進学コース、情報処理コース

◆富士市立高校

平成23年　‘総合型単位制高校’として改編

総合探究科、ビジネス探究科、スポーツ探究科

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

3　富士市立高校の取組実績と現状

【基本データ】　※令和8年5月1日現在

◆創立　　昭和37年(1962年)4月1日

◆課程　　全日制単位制

◆全校生徒数(男女内訳)･･･686人(男361人/女325人)

◆設置学科、募集人数

総合学科(120人)	ビジネス探究科(80人)	スポーツ探究科(40人)
幅広い知識や教養と自律の姿勢を養う、大学進学後を意識した学習のノウハウを学ぶ専門学科	ビジネスを理論的、実践的に学ぶ、進学や高度な資格取得に対応する専門学科	心身を鍛え、スポーツを科学的、理論的に学ぶ、静岡県内高校で唯一のスポーツ専門学科

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

３　富士市立高校の取組実績と現状

【基本データ】

◆校　　章　　青い富士を背景に「F」の文字で囲む
夢や希望、自律する若者の向上心
また、地域社会との交流をイメージ

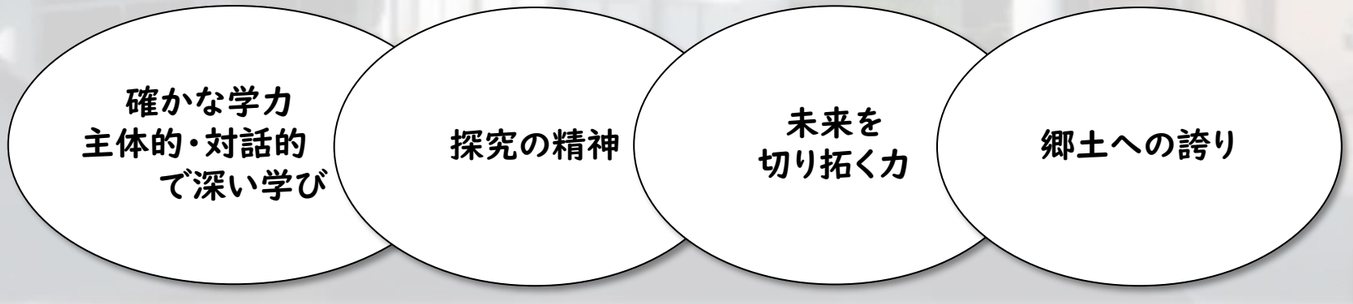
◆校　　訓　　「　考　え　よ　」

◆教育目標　　「自律する若者」～未見の我を探そう～

◆教育方針　　「　C･D･I　」の実践

郷土愛を胸に、夢の実現にチャレンジし、様々な世界で活躍する若者を育成





3　富士市立高校の取組実績と現状

【教育方針】「 C･D･I 」3つのコンセプト

C ：コミュニティ・ハイスクール

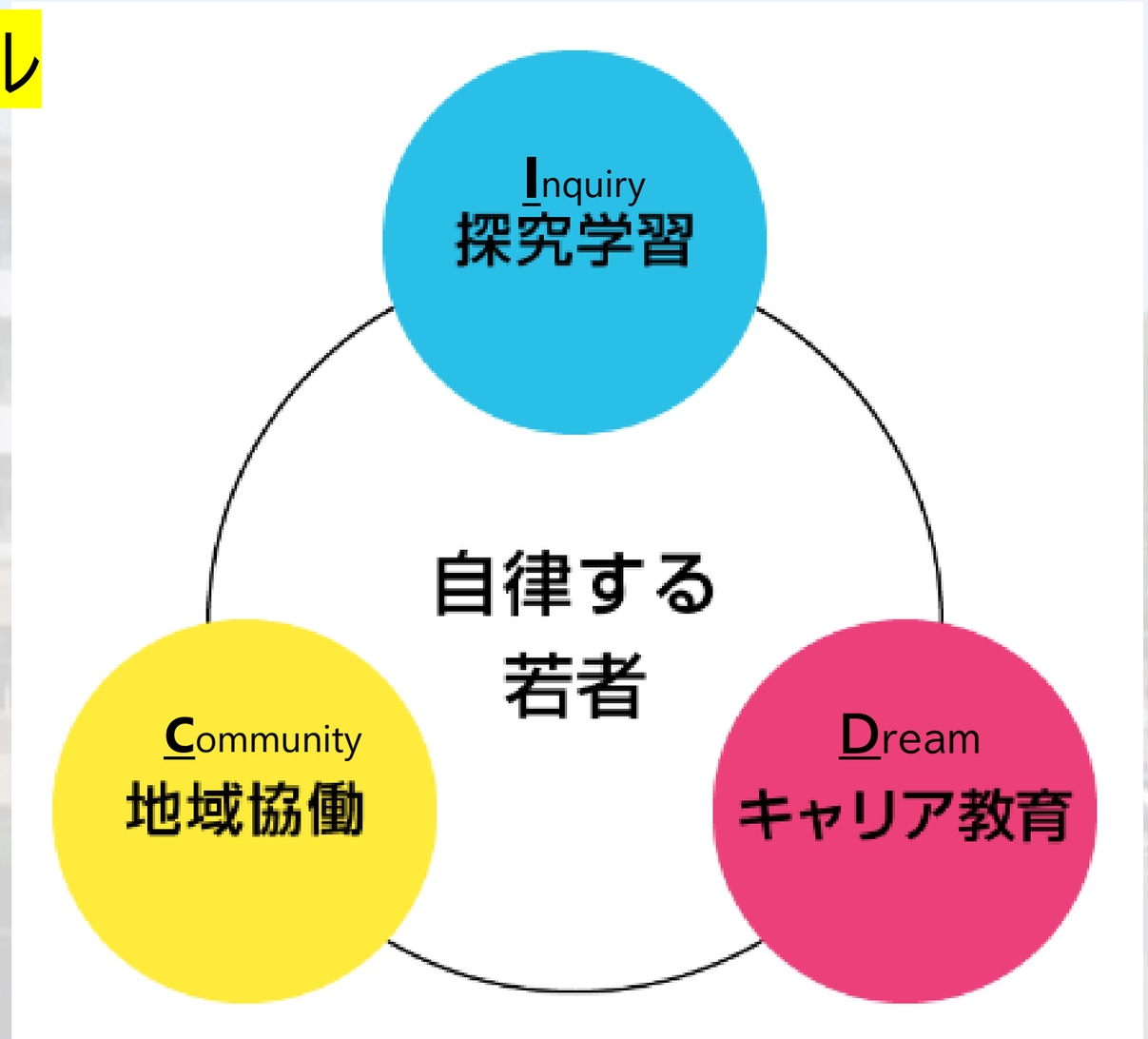
（地域協働）

D ：ドリカム・ハイスクール

（キャリア教育）

I ：探究・ハイスクール

（探究学習）



３　富士市立高校の取組実績と現状

【教育方針】

Ｃ ：コミュニティ・ハイスクール （地域協働）

⇒地域から愛される、魅力ある学校であり続ける
　地域教育の拠点化を目指し、交流を進め、発信する

Ｄ ：ドリカム・ハイスクール （キャリア教育）

⇒生徒の夢の実現のために全力を尽くす
「本物と出会う体験」、「社会とつながる学び」を重視する

Ｉ ：探究・ハイスクール （探究学習）

⇒探究学習を教育の柱とし、教育活動全般で実践する
　探究の取組をさらに広げ、活動のレベルを上げる

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

【教育方針】

C ：コミュニティ・ハイスクール （地域協働）

⇒地域から愛される、魅力ある学校であり続ける
　地域教育の拠点化を目指し、交流を進め、発信する

◆「市役所プラン」・・・地域の魅力と課題を見つけ、企画・提案

◆「人工芝で遊ぼう」・・・学校施設を活用した地域交流事業

◆「多世代交流サッカー」「Def(聴覚障害)サッカー教室」
　・・・スポーツを通した地域住民との交流事業

◆「高校生といっしょに遊ぼう」・・・放課後子ども教室

◆プロスポーツチームとの連携

◆「吉原宿場まつり」地域イベント参画、◆24時間テレビチャリティー

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

【教育方針】

D ：ドリカム・ハイスクール　（キャリア教育）

⇒生徒の夢の実現のために全力を尽くす
「本物と出会う体験」、「社会とつながる学び」を重視

◆職業人講話(1年)

◆大学・学部研究(2年)

◆個別指導(3年)

◆キャリア講演会

◆課題補講・土曜学習

◆連携型キャリア支援活動

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

【教育方針】

Ⅰ　：探究・ハイスクール　（探究学習）

⇒社会とのつながりを意識した課題解決型の探究学習
　特定の時間や活動のみではなく、学校の教育活動全体で
　探究を意図して行い、認知能力・非認知能力の向上に繋げる

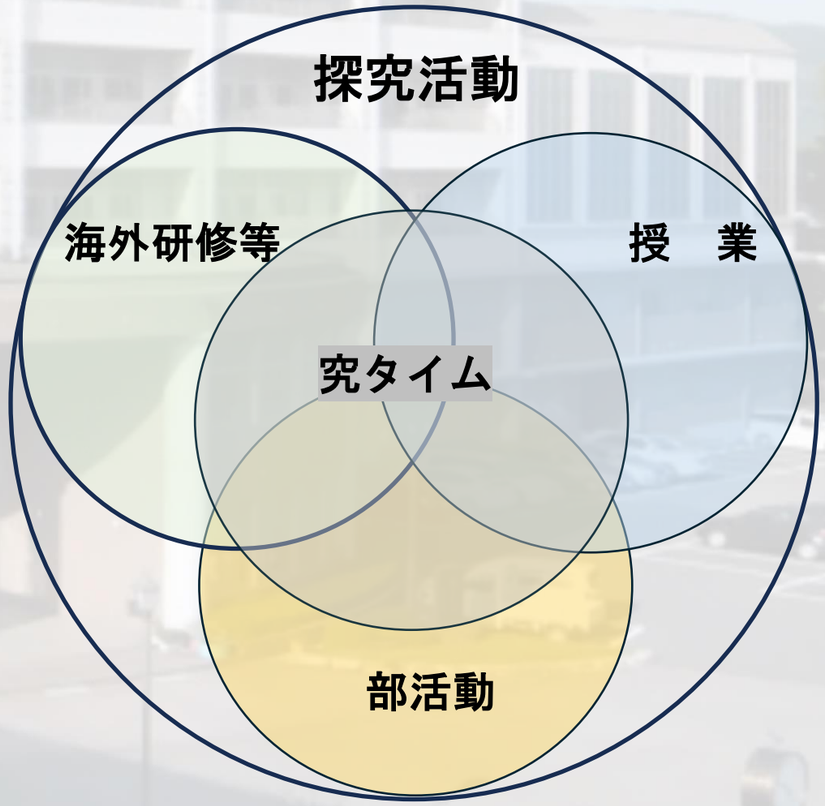
◆「究タイム」（総合的な探究の時間）

◆各教科　授業での探究学習

◆学校行事での探究活動

◆海外探究研修、集中研修

◆各部活動での探究活動

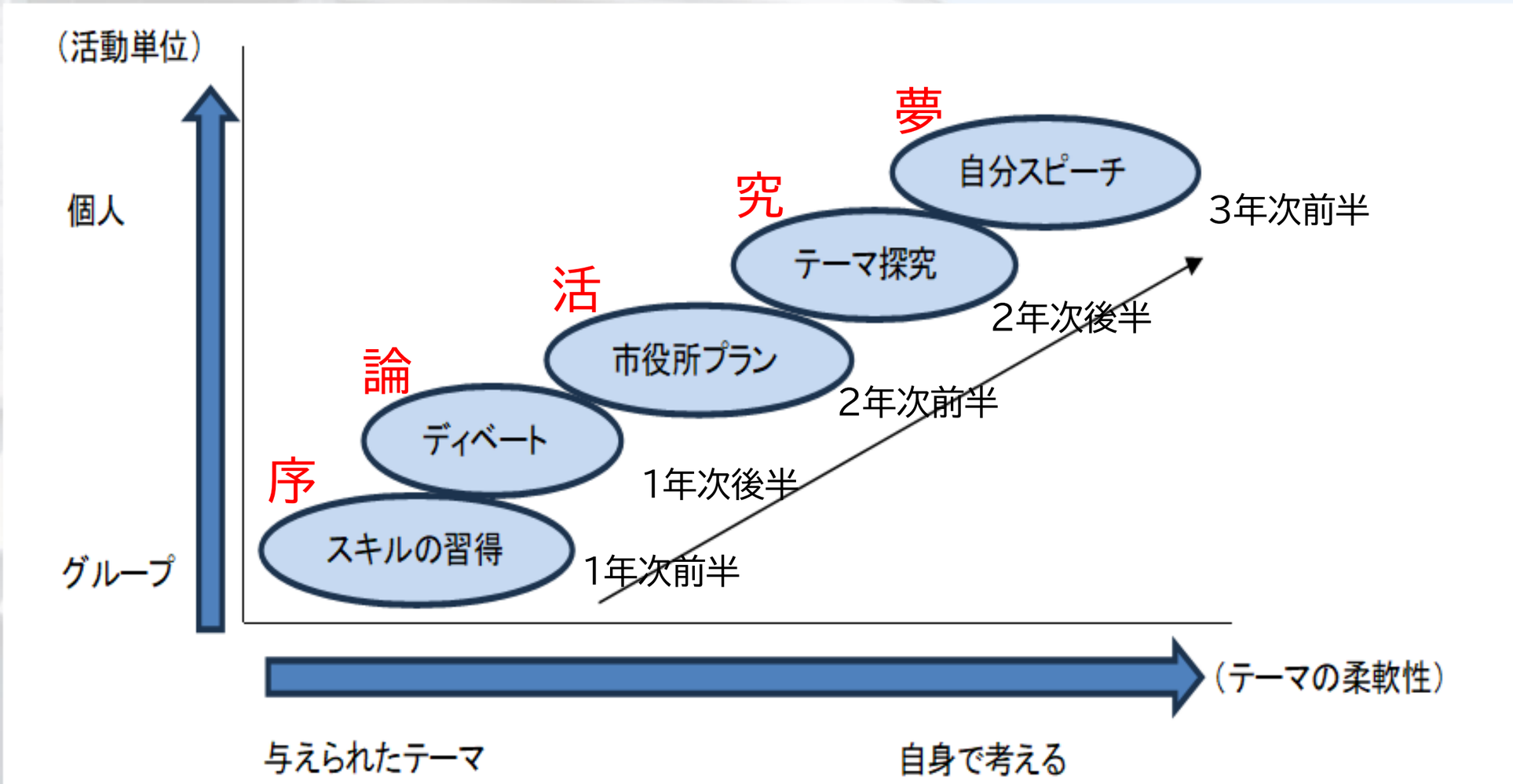


〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

【教育方針】

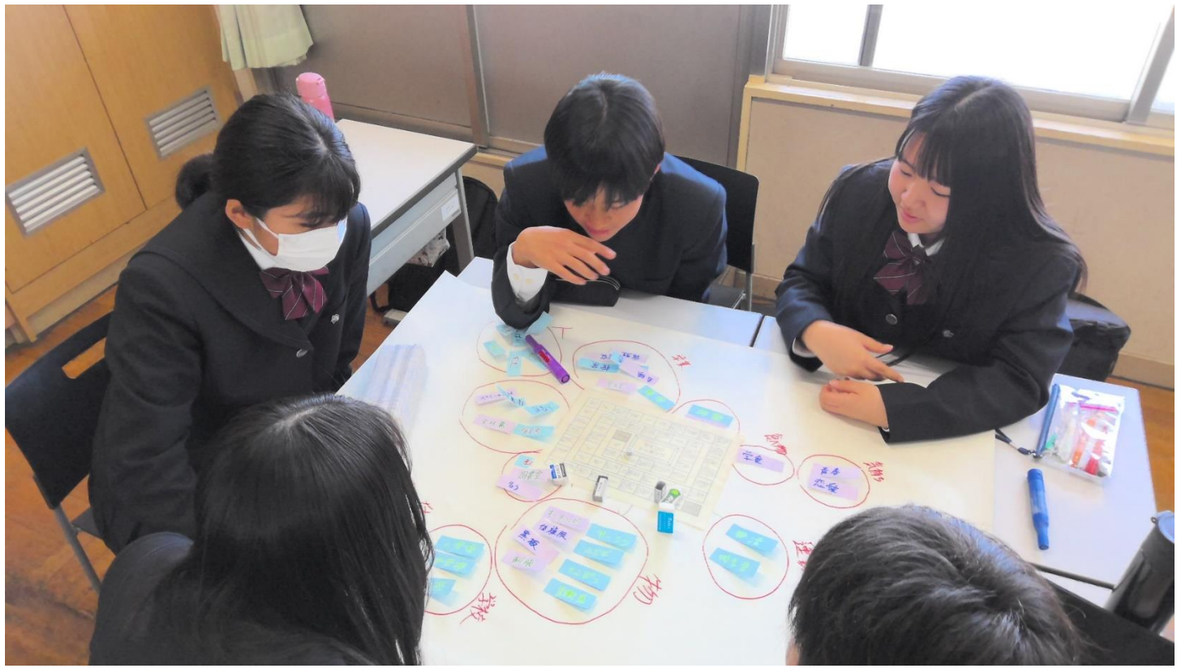
Ⅰ　：探究･ハイスクール　（探究学習）

◆総合的な探究の時間（究タイム）･･･5段階の課題解決学習



究タイム 「序」 １年前期：探究スキル習得

ブレインストーミング、KJ法など、課題を見つけ、情報を集め、
まとめて、表現するための基本的な方法を学びます。





究タイム　２「論」１年生後期:ディベート

ディベートにチームで取り組みことで、多角的な見方や論理的な考え方を学び、コミュニケーション力や協働力を高めます。

部活動は地域展開すべきである





究タイム　３「活」 2年前期：市役所プラン

地域に入り込み、魅力と課題を見つけ出し、地域の方と高校生にできることを、企画・提案することで、地域の一員としての意識を高めます。





究タイム　４　「究」2年後期：テーマ学習

これまで身に付けた力を活用して、**自分自身で設定したテーマ**を
探究することで、社会問題や自分の将来について視野を広げます。





究タイム　５　「夢」3年前期：自分スピーチ

これまでの学習を振り返ることで、気付きや自らの成長を自覚し、**自分自身の将来**との繋がりを意識したスピーチの作成を通して、進路意識を高めます。



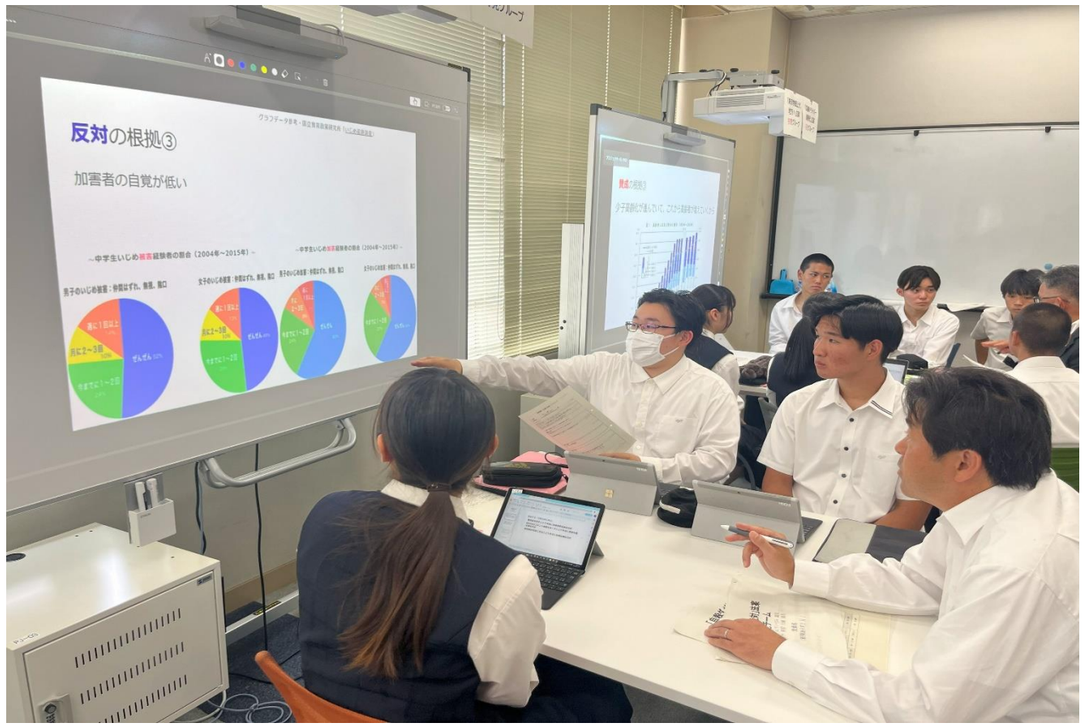


富士市立高等学校

各教科での探究学習

社会探究β





財務局との協働プログラム：2024年の国家予算を考える

各教科での探究学習

人文探究α





ビブリオバトル：お気に入りの本を紹介
SPACとの協働プログラム：朗読発表会を実施

各教科での探究学習

商品開発





農協との協働プログラム：地元農産物を使った新商品の開発

（一般社団法人i.clubとの連携：イノベーションの授業）

学校行事での探究学習

体育祭運営

スポーツ探究科の生徒
が自ら体育祭を企画し
運営を行っている







富士市立高等学校

その他の主体的な探究学習（地域交流・企業連携）







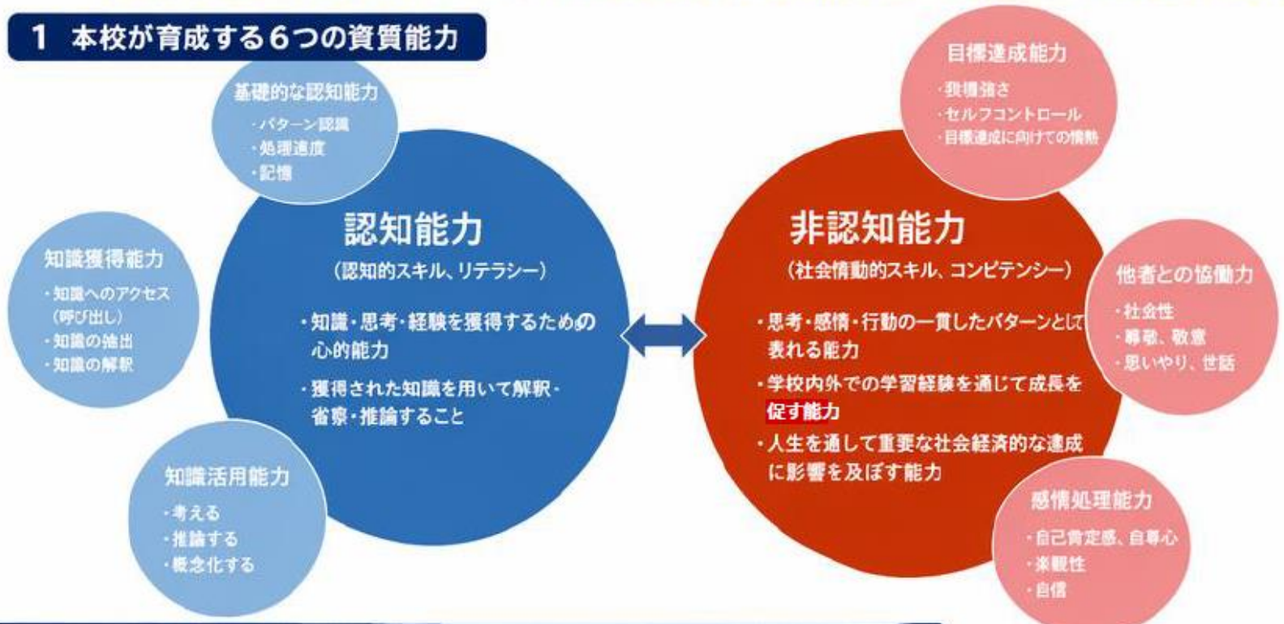


探究学習と非認知能力　定量データ

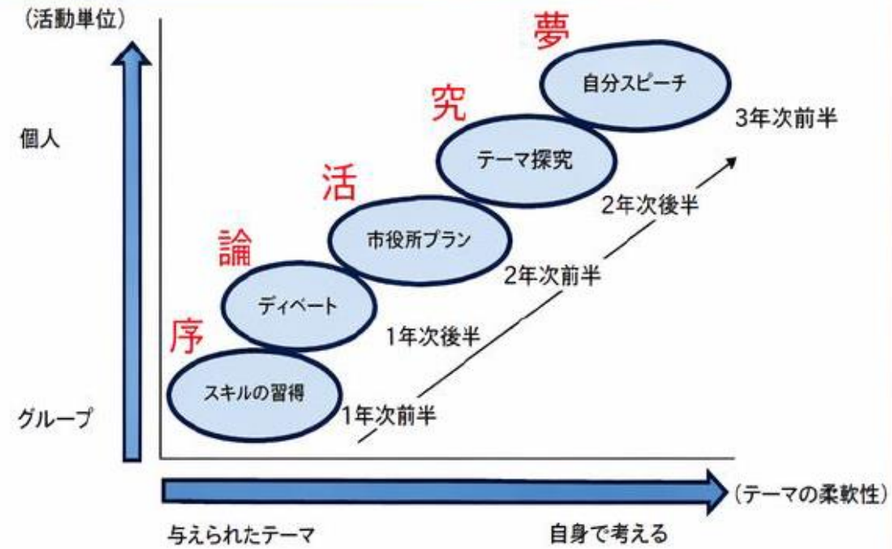
富士市立高校の探究学習の取組と成果　～非認知能力の育成で、未来を切り拓く力を育てる～

課題解決型の探究学習や多様な体験活動を通して、認知能力と非認知能力の両面を伸ばし、生徒一人ひとりが新しい時代を主体的に生き抜く力を育成しています

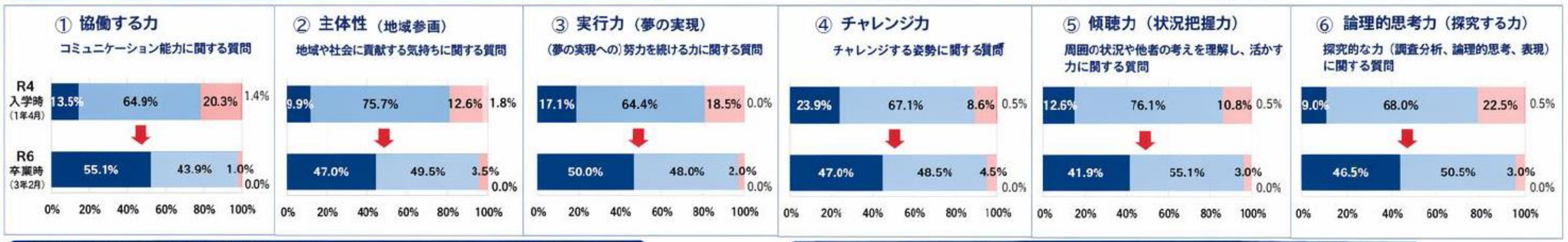
1　本校が育成する6つの資質能力



2　探究学習の5段階プロセス（総合的な探究の時間）



3　6つの資質能力の3年間の伸長（R4入学時（1年4月）→ R6卒業時（3年2月））



4　能力を伸ばした主な活動（R6卒業生アンケートより「身に付いた活動」の上位）

	協働する力（コミュ力）	主体性（地域参画）	実行力（夢の実現）	チャレンジ力	傾聴力（状況把握力）	論理的思考力（探究する力）
1位	究タイム（27.3%）	究タイム（36.9%）	進路（検定・受験等）（40.2%）	部活動（38.8%）	究タイム（39.7%）	究タイム（53.1%）
2位	学校行事（25.0%）	部活動（28.5%）	部活動（23.5%）	究タイム（22.9%）	授業（29.5%）	授業（38.9%）
3位	部活動（24.4%）	授業（20.1%）	授業（16.2%）	授業（14.7%）	部活動（19.2%）	部活動（3.7%）

※（　）内は割合　※「究タイム」は「総合的な探究の時間」のこと

5　多様な活動の場面で活用・発揮し、富士市になくてはならない学校へ

教科授業	学校行事	ボランティア活動	部活動	進路活動	地域交流・地域貢献
思考・表現力の向上 主体的な学びへ	協働・協力の経験 集団の力を実感	地域貢献の実践 社会とのつながり	目標に向けた努力 粘り強さ・挑戦心	将来設計と実現 自律的な進路選択	地域課題の解決 持続可能な社会へ

探究学習で培った力を多様な教育活動で活用・発揮し、地域とともに未来を創る人材を育成

富士市になくてはならない学校を目指して

成績化・定量化しにくい非認知能力を適切に可視化し、生徒一人ひとりにフィードバックする仕組みづくりを推進しています。

3　富士市立高校の取組実績と現状

【総合探究科の特色】

幅広い知識や教養と、自律の姿勢を養う。2年次から文理に分かれ、大学進学後を意識した学習のノウハウを学ぶ専門学科

「探究」に必要なものの見方・考え方・実践する力を養う。
各教科や学校の教育活動全体で探究を意図して行っていく。

学年	単位	1 2	3 4 5	6 7	8 9 10	11 12	13 14	15	16 17	18 19	20 21 22 23 24	25 26 27 28 29	30 31	32	33
1年次		現代の国語	言語文化	公共	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	家庭基礎	理数数学Ⅰ	総合英語Ⅰ	総合探究タイム（総探）	LHR	研究実践
2年次	文系	論理国語	古典探究	歴史総合	日本史探究 世界史探究 / 地学基礎	体育	保健	情報Ⅰ	理数数学Ⅱ		総合英語Ⅱ	ディベート・ディスカッションⅠ / 人文探究 / 社会探究	テーマ探究 / 総合探究タイム（総探）	LHR	研究実践
	理系			地理総合	物理基礎 / 化学生物 ※1 物理								数学探究 / 自然探究α		
3年次	文系	論理国語	古典探究	地理総合	日本史探究 ※2 / 世界史探究	政治・経済 / ソフトウェア選択	体育		選択科目（4単位）系列Ⅰ・Ⅱ 2単位×2科目		理数数学Ⅱ / 総合英語Ⅱ	エッセイライティングⅠ / 人文探究	社会探究	LHR	研究実践
	理系		歴史総合	生物 化学 物理 ※2	生物 化学 物理 ※3	理数数学特論						数学探究	自然探究β		

選択科目4単位は、現代の国語演習、古典探究演習、地理総合演習、日本史探究演習、世界史探究演習、政治・経済、化学基礎演習、生物基礎演習、簿記、フードデザイン、理数数学Ⅰ演習、理数数学Ⅱ演習、スポーツⅥ、総合英語ⅠⅡ演習

3　富士市立高校の取組実績と現状

【ビジネス探究科の特色】

ビジネスを理論的、実践的に学ぶ。進学や高度な資格取得に対応する専門学科

「探究」に必要なものの見方・考え方・実践する力を養う。
各教科や学校の教育活動全体で探究を意図して行っていく。

単位 / 学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年次	現代の国語		言語文化		公共		数学Ⅰ			数学A		科学と人間生活		体育		保健	芸術Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ				ビジネス基礎		簿記					探究タイム（総探）		LHR	企業研究
2年次	論理国語		文学国語		歴史総合		数学ⅠA基礎演習		数学Ⅱ	生物基礎	化学基礎	体育		保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅰ		家庭基礎		マーケティング		財務会計Ⅰ		原価計算			情報処理		テーマ探究	探究タイム（総探）	LHR	企業研究
3年次	論理国語		文学国語		地理総合		観光ビジネス	世本史探究	日本史探究（地歴・商）	体育		選択科目（6単位）Ⅲ系列Ⅰ・Ⅱ・2単位×3科目							英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		課題研究					ビジネス・マネジメント		財務会計Ⅰ		LHR	企業研究

選択科目６単位は、現代の国語演習、日本史探究演習、世界史探究演習、数学B、数学ⅠⅡA演習、化学基礎、生物基礎、化学基礎演習、生物基礎演習、英語コミュニケーションⅠⅡ演習、観光ビジネス、ソフトウェア活用、フードデザイン、スポーツⅥ

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

3　富士市立高校の取組実績と現状

【スポーツ探究学科の特色】

心身を鍛え、スポーツを科学的、理論的に学ぶ、静岡県内高校で唯一のスポーツ専門学科

「探究」に必要なものの見方・考え方・実践する力を養う。
各教科や学校の教育活動全体で探究を意図して行っていく。

単位 / 学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年次	現代の国語		言語文化		公共		数学Ⅰ			数学A		科学と人間生活		保健	芸術Ⅰ			英語コミュニケーションⅠ			家庭基礎		スポーツ概論	スポーツⅠ	スポーツⅡ	スポーツⅢ	スポーツⅥ	スポーツ総合演習		探究タイム（総探）		LHR	野外活動（スポーツⅤ）
2年次	論理国語		文学国語		地理総合		歴史総合		数学Ⅱ			化学基礎生物基礎		保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅰ			情報Ⅰ		スポーツ概論	スポーツⅠ	スポーツⅡ	スポーツⅢ	スポーツⅣ	スポーツⅥ	スポーツ総合演習		テーマ探究	探究タイム（総探）	LHR	野外活動（スポーツⅤ）
3年次	論理国語		文学国語		地理探究 日本史探究 世界史探究			地理演習 世界史演習 日本史演習		選択 数学B 化学基礎 生物基礎			化学・生物基礎演習	選択科目（4単位） 2単位×2科目 系列Ⅰ・Ⅱ				英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		スポーツ概論	スポーツⅠ	スポーツⅡ	スポーツⅣ	スポーツⅥ	スポーツ総合演習		スポーツ探究Ⅰ		LHR	野外活動（スポーツⅤ）
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33

選択科目４単位は、現代の国語演習、数学ⅠⅡA演習、数学ⅠⅡAB演習、英語コミュニケーションⅠⅡ演習、簿記、ソフトウェア活用、フードデザイン、スポーツⅥ演習

3　富士市立高校の取組実績と現状

【部活動と実績】

＜運動部＞
陸上、野球、サッカー、ゴルフ、男女テニス、女子バレーボール、男女バスケットボール、柔道、剣道、弓道、水泳
卓球、チアリーダー

＜文化部＞
吹奏楽、ギター、ビジネス、商業情報、箏曲、茶華道
総合カルチャー（JRC・デジタル・書道・囲碁将棋・英会話等）

＜生徒会執行部＞
生徒会

〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

陸上部（全国大会）
100M　優勝　200M3位
800M　優勝　100MH4位



チアリーダー部（東海大会）
SONG/POM部門S編成2位
全国大会　出場





サッカー部
（東海大会）　プリンスリーグ東海
（県大会）　　第3位

〔第2章〕 ②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

男子テニス部(県大会)　ベスト8





野球部(県大会)
ベスト16

吹奏楽部(県大会)
県吹奏楽コンクール金賞



商業情報部　東海大会出場
(県大会)電卓の部団体5位、個人2人
簿記の部個人1人



〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

施設・設備の充実

●人工芝グラウンド

●人工芝テニスコート（夜間照明）





〔第2章〕　②学校概要、教育コンセプト、取組実績と現状

施設・設備の充実

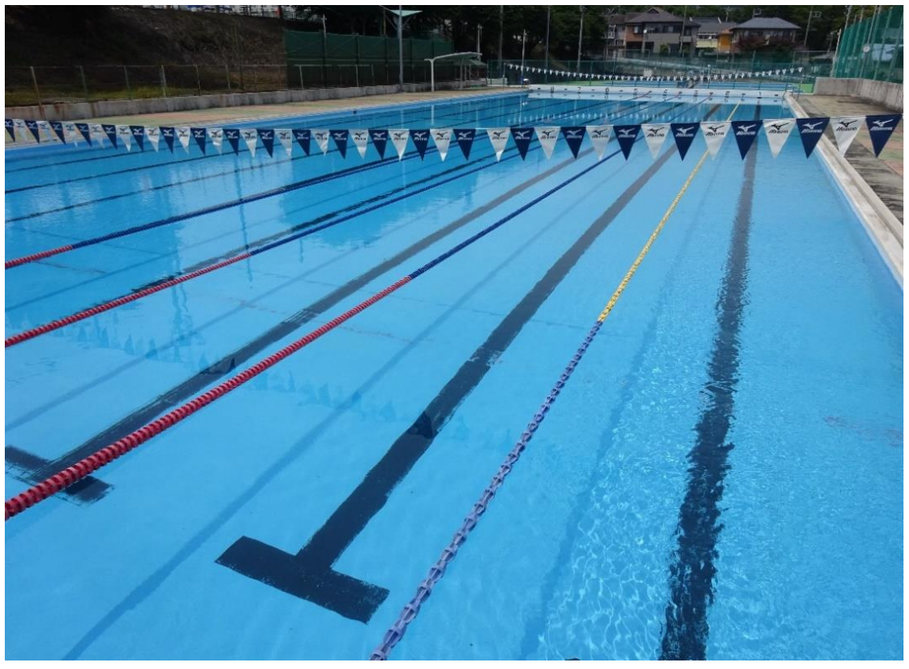
●練成館（合宿所、食堂）

●CG教室、PIRroom　3教室

●50mプール



●全教室にエアコン・プロジェクター完備

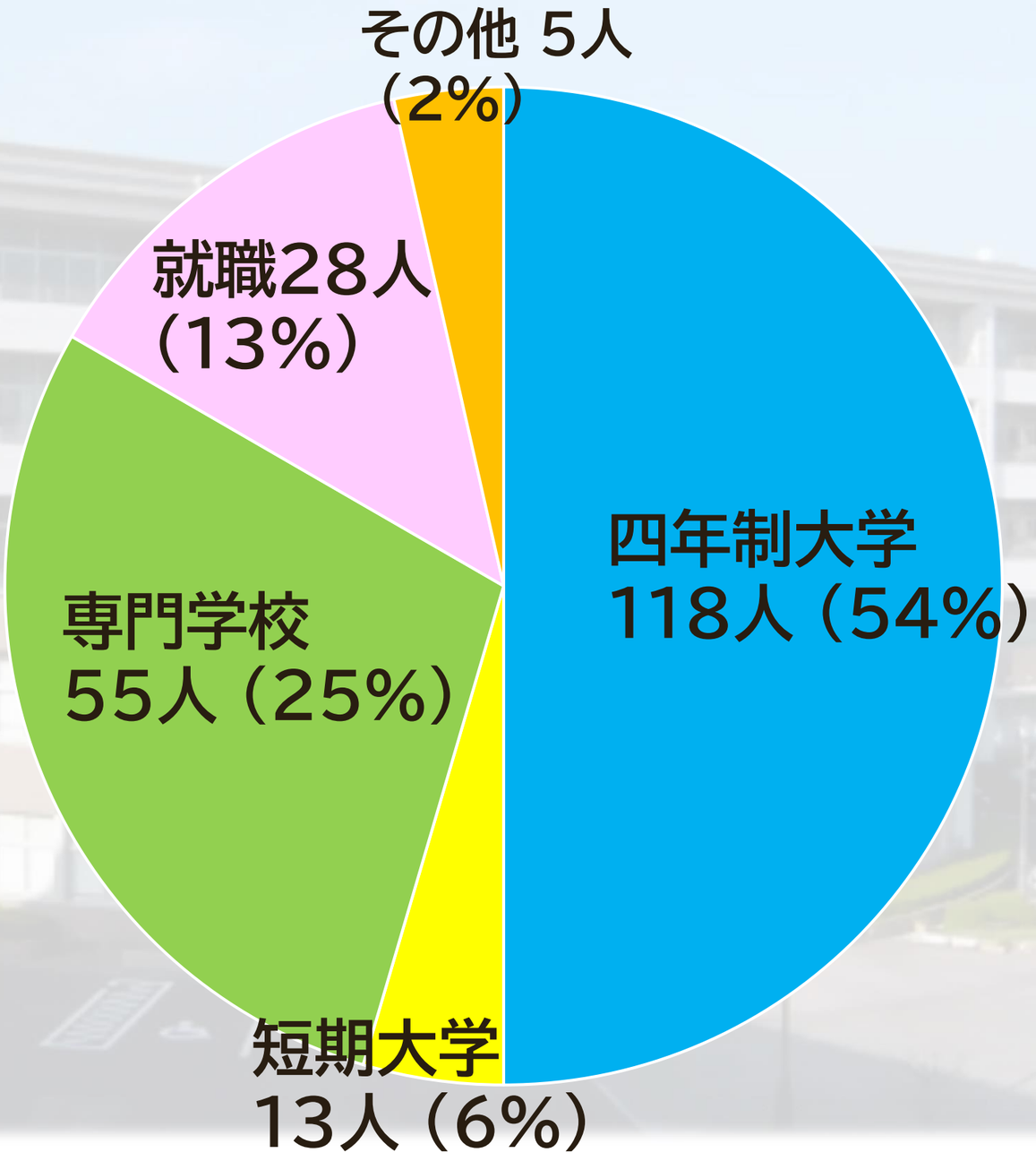




富士市立高等学校

13期生（令和7年度卒業生）の進路状況

四年制大学・短大等の進学、地元企業への就職



主な進路実績（令和7年度）

四年制大学（118人）国公立 5人

筑波大学(人文・文化学群)，高知大学（理工），都留文科大学（教養）
静岡文化芸術大学（文化政策），山形県立米沢栄養大学（健康栄養）

立教大学(経営), 専修大学(商), 神奈川大学(経済等),亜細亜大学(経済)
常葉大学(外国語・教育・経営・健康科学・保育・法等),駒沢大学（文）
明治学院大学(国際), 玉川大学,(経営),帝京大学(教育),
日本体育大学(体育),南山大学(経営),横浜桐蔭大学(スポーツ)等

短期大学（13人）国公立 1人

静岡県立大学短期大学部（社会福祉），常葉大学短期大学部（保育）
小田原短期大学（食物栄養），静岡英和学院大学短期大学部(食物衛生)
山梨学院短期大学（食物栄養）， 山野美容芸術短期大学(美容総合)等

主な進路実績（令和７年度）

専門学校（55人）

静岡県立看護専門学校，富士市立看護専門学校，沼津市立看護専門学校，静岡市立清水看護専門学校，おだわら看護専門学校
静岡医療センター付属静岡看護専門学校，大原公務員医療観光専門学校
横浜ビューティーアート専門学校，静岡デザイン専門学校　　等

就職(28人)

警視庁，公務員（自衛官候補生）,熱海市消防 ,富士信用金庫
富士伊豆農業協同組合 ,藤枝MYFC，(株)エイワンスポーツプラザ
旭化成（株）富士支社, 日本郵政（株），（株）たこ満，　テルモ(株)
東京電力パワーグリット（株）アイエイアイ，日本製紙（株）
ダイハツ沼津販売株式会社、トヨタカローラ静岡株式会社
三菱電機(株)，　日本製紙(株)，　富士宮通運(株)　　等

〔第2章〕　③改革実施計画検証後の在り方とその後の取組

４　改革実施計画検証後の在り方（2021-30の方向性）

令和元年度～2年度 「改革実施計画の検証に係る有識者会議」

（1）探究学習（Ⅰ）についての提言

（2）地域協働（C）についての提言

（3）キャリア教育（D）についての提言

（4）その他（組織運営や3学科の今後）についてのご提言

▼

本校の「守るべきスタイル」と「レベルアップを図るための方向性」

を今後に示すものとして、**「ステートメント」**の形で総括した

〔第2章〕　③改革実施計画検証後の在り方とその後の取組

４　改革実施計画検証後の在り方（2021-30の方向性）

検証の対象	ステートメントの要旨
地域協働（C）	・地域から愛される魅力ある学校 ・地域教育の拠点化を目指す ・多面的な地域交流事業で市への貢献
キャリア教育（D）	・「本物と出会う体験」、「社会とつながる学び」 ・主体性の尊重、自己管理能力の育成 ・学習や経験を未来へつなぐ進路指導
探究学習（Ⅰ）	・教育の柱とし、教育活動の全般で実践する ・取組の幅を広げ、かつ、活動のレベルを上げる ・各教科への理解を探究的な手法で深める ・斬新な発想とパイオニア精神で新分野に挑戦

〔第2章〕　③改革実施計画検証後の在り方とその後の取組

5　改革実施計画検証後の本校の取組

令和4年3月　第二次改革実施計画を策定し、改革推進

改革実施	ステートメントを受けて策定したこと
地域協働（C）	1　地域交流の拠点（ナイトウォーク、地域交流ミーティング、総合型地域クラブ連携） 2　社会教育の拠点（学校開放計画の作成、外部主催事業への協力） 3　生涯学習の推進（ALTと楽しく話そう英会話、生徒参加コミュニティ講座）
キャリア教育（D）	1　地域との連携推進（市役所、大学、NPO主催の人材育成事業への参加） 2　「本物と出会う」機会の充実（講演会、職業人講話、各種体験会の案内） 3　卒業後の姿をイメージできる機会（大学、職場、卒業生とつながる機会）
探究学習（Ⅰ）	1　「究タイム」や各教科での外部連携と協働の推進（学校全体で探究実践） 2　地域課題×探究学習及び学習成果へのフィードバックを強化 3　探究学習の成果の可視化、アンケートや外部アセスメントの利活用 4　新たな提携先の開拓、コンソーシアム構築の検討、各教科の探究プログラム開発を支援

〔第2章〕 ④財政面からみる市立高校（高校教育費）

1 令和8年度歳出当初予算額

（単位：千円）

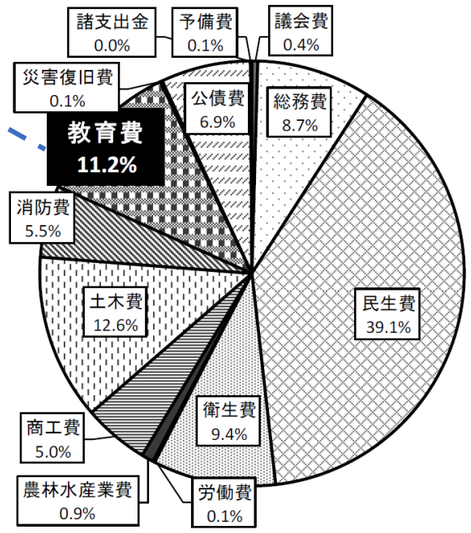
区分＼年度	令和8年度当初予算額（A）	令和7年度当初予算額（B）	令和6年度当初予算額（C）	比較増減	
				（A）－（B）	（A）－（C）
一般会計予算総額	110,800,000	104,500,000	101,800,000	6,300,000	9,000,000
教育費総額	12,402,939	13,345,799	17,016,181	△ 942,860	△ 4,613,242
教育費の割合	11.2%	12.8%	16.7%	△ 1.6ポイント	△ 5.5ポイント

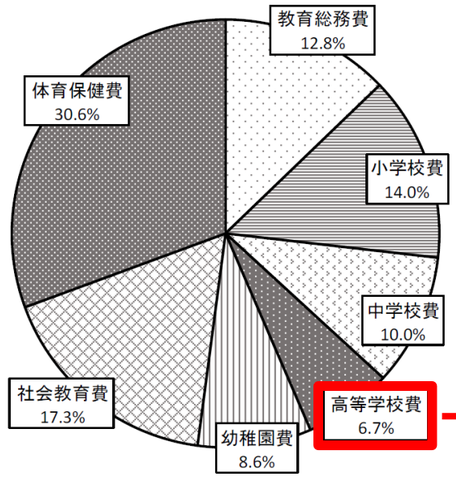
出典：ふじの教育
作成：富士市教育委員会

2 令和8年度一般会計歳出予算と教育費予算

一般会計　（単位：千円）

款	予算額	構成比
議会費	488,451	0.4%
総務費	9,616,154	8.7%
民生費	43,341,693	39.1%
衛生費	10,396,106	9.4%
労働費	159,963	0.1%
農林水産業費	1,010,897	0.9%
商工費	5,525,329	5.0%
土木費	13,904,324	12.6%
消防費	6,082,682	5.5%
教育費	**12,402,939**	**11.2%**
災害復旧費	164,720	0.1%
公債費	7,606,642	6.9%
諸支出金	100	0.0%
予備費	100,000	0.1%
歳出合計	110,800,000	100.0%





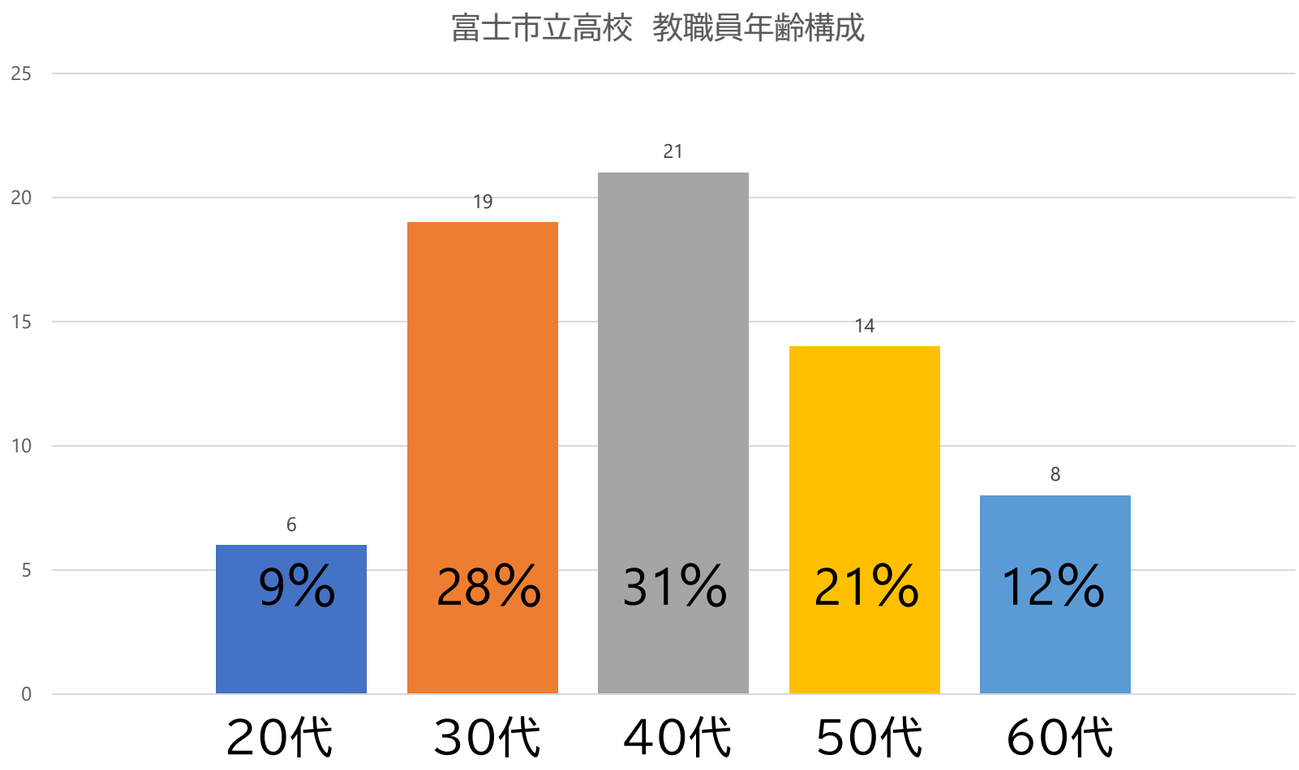
教育費　（単位：千円）

項	予算額	構成比
教育総務費	1,587,267	12.8%
小学校費	1,734,997	14.0%
中学校費	1,235,930	10.0%
高等学校費	836,164	6.7%
幼稚園費	1,070,012	8.6%
社会教育費	2,140,689	17.3%
体育保健費	3,797,880	30.6%
教育費合計	12,402,939	100.0%

〔第2章〕　④財政面からみる市立高校（高校教育費）

3　教職員年齢構成・経費等

出典：ふじの教育
作成：富士市教育委員会



◆富士市立高校教職員　　計68人
　うち任期付・臨時任用　　14人
　うち市単採用者　　3人
　他　会計年度職員　　37人

◆年間の人件費　（R5～R7平均）
・一般職員　　約6億3，500万円
・会計年度職員　　約　　6，000万円
※高等学校費のおよそ7割程度

〈　参考　〉　**教育費決算額及び高校運営コストの推移**　　（単位：千円）

	R2	R３	R４	R５	R６	R７	R８
教育費合計	10,768,932	10,910,879	11,311,944	13,491,054	17,112,055	13,345,799	12,402,939
高等学校費	812,056	780,052	918,435	847,266	1,118,387	1,015,831	836,164
割合	7.5%	7.1%	8.1%	6.3%	6.5%	7.6%	6.7%

※令和7・8年度の金額は、教育費当初予算額内訳に示された歳出費